

これからの中学校施設の在り方について

中学校施設整備指針改訂において、今後特に留意すべきこと、さらに充実すべきとされた7つの視点。

- 1 新学習指導要領への対応
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を促す施設整備
- 2 ICTを活用できる施設整備
 - ・ ICTを日常的に活用できる施設整備
- 3 インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組
 - ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進
- 4 教職員の働く場としての機能向上
 - ・ 働く場としてふさわしい環境として整備
- 5 地域との連携・協働の促進
 - ・ チームとして学校を支える専門スタッフ等のスペース確保
 - ・ 地域全体の公共施設の状況等を踏まえ、他の公共施設との複合化・共有化等を検討
- 6 学校施設の機能向上
 - ・ 照明設備や冷暖房設備も組み合わせて良好な環境を確保
 - ・ 施設や設備とともに、囲障等の工作物も含めた安全性を確保
 - ・ 洋式便器を採用するなど、生活様式や児童のニーズ等を踏まえた便所を計画
 - ・ 災害時に避難所となる学校施設では、物資等の搬入を見据え、門等の通行幅を十分に確保
- 7 変化に対応できる施設整備
 - ・ 教育内容・方法や社会的変化等に対応し、学校施設を長く使いこなすための施設整備